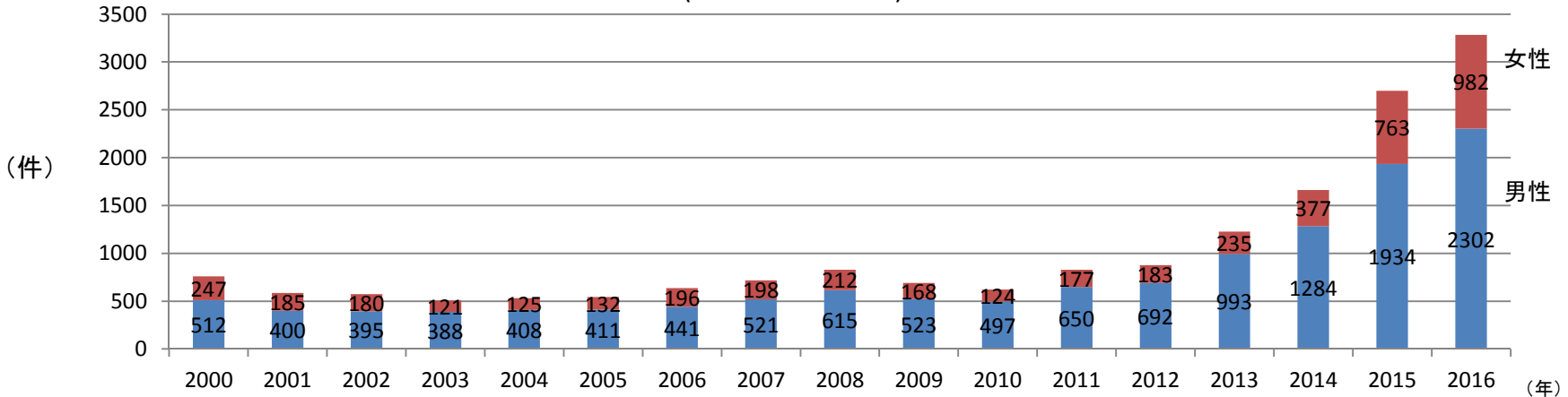


日本の性感染症の発生動向（１）

梅毒報告数年次推移（男女別）

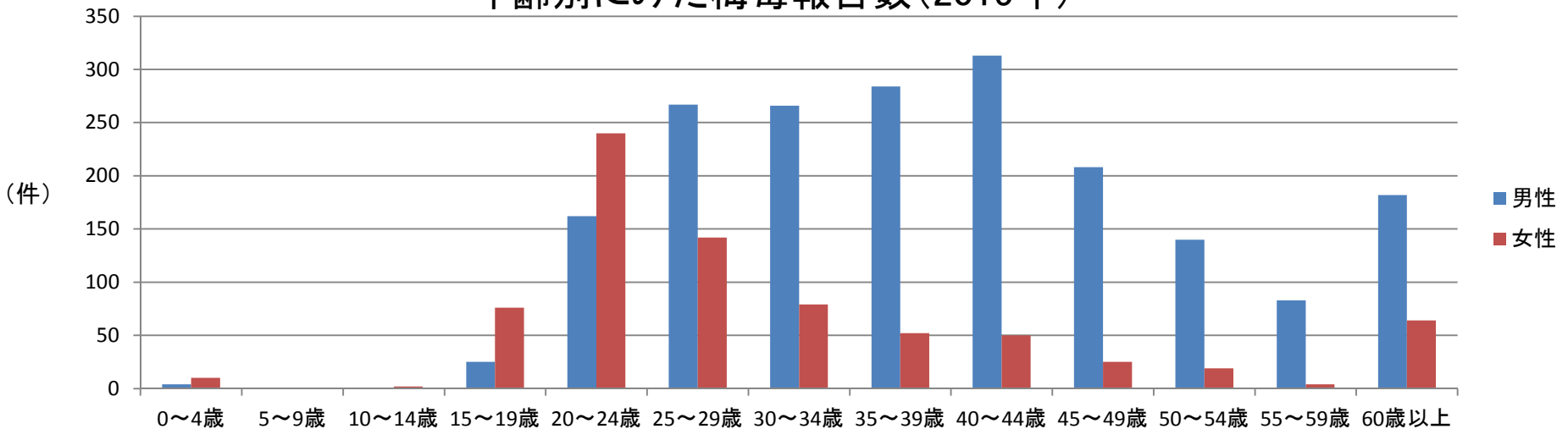
（2000年～2016年）

2010～2014年は感染症発生動向調査事業年報による。
2015年、2016年は2016年10月11日時点集計値（暫定値）
2016年は2016年第1週から39週までの報告を対象。



2010年以降、梅毒症例の報告数は増加を続けており、
そのうち女性の占める割合も2013年以降増加しています。

年齢別にみた梅毒報告数（2015年）



男性は20～40歳代、女性は20歳代の報告が多い。